

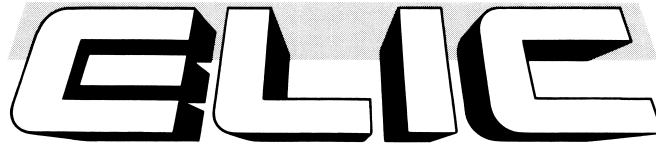
電機労働者懇談会

Electric Labor and Industry Correspondence

2023年8月10日

No 428

発行者：ELIC編集委員会谷口利男
142-0043 東京都品川区二葉2-20-8
電話(03)6421-5323 染野ビル2F
郵便振替00130-3-358078ELIC編集委員会



1部100円

第5回電機リストラ反撃交流集会

15企業・29職場から48人が出席

第5回電機リストラ反撃交流集会は、7月23日(日)都南部労政会館会議室とスカイプ中継され15企業29職場から48人の出席で開催。

司会は森 英一(電機・情報ユニオン書記長、電機懇全国世話人)が担当しました。

主催者あいさつで電機懇今井代表は、2021年の3回目から「ジョブ型」について論議され、富士通では管理職に導入してから、職場長が社員を支配する制度となり、NECでは処遇制度を大幅に改悪され、闘いを広げようと強調しました。

藤田教授講演で問題点が指摘される



桜美林大学 藤田 実 教授の講演は、電機産業の事業構造の転換とジョブ型雇用と題して行って頂きました。日本の「ジョブ型」雇用の問題点について、まともな職務分析もなく会社が恣意(しい)的に格付けし、リスキリングも労働者に新技術対応の責任を個人に押し付けていると指摘しました。(2Pに詳細掲載)

米田委員長報告でリストラ反撃を

基調報告は、電機・情報ユニオン米田徳治委員長が「国際労働基準」を学習しながら、資本の攻撃と闘いで成果をあげて来た事例とし、三菱電機で違法派遣されていた労働者がリーマンショック時に解雇された事件を14年ぶりに本社常務が「謝罪解決」し、人あつての企業であるとの認識を示した。

23年3月期電機各社の決算では「内部留保を取り崩すシャープ」や「JEITA」統計で電子デバイスの輸出が落ち込んでおり、



新たなリストラ策が予想される。

政府の「労働政策基本会議」で多様な働き方を提唱し、23年5月にジョブ型などを発出し、教育と公務員の現場を民間並みにする。

特別報告;愛知・富士通・日立・NEC

①愛知支部の成木委員長は、三菱電機との闘いで2011年から株主総会で発言して追求を行い、本社との対話ができるから株主の質問状と解決に向けての場所作りを重視して大きな成果を上げた。

②富士通の来栖さんは、導入されたジョブ型の職場実態を調査し、ひどい結果を発言した。

③日立懇田中代表は、6月の労組本部要請で24年春闘で65歳からの再雇用を協議する。

④NEC懇九野代表は、賃金制度改悪で春闘も無くなると労使協議を批判した。

最後に閉会挨拶を、米田実行委員長が行いました。

今月号の紙面

- ①第5回リストラ反撃交流集会
- ②藤田教授の講演を紹介する
- ③「いの健センター東京」年次総会
- ④日立労組本部への要請行動
- ⑤NEC「制度の改悪」を告発
- ⑥ラプラス「脳梗塞」谷口さん
- ⑦電機情報ユニオン、青年コーナー
- ⑧電機懇「第36回総会」案内
「再雇用制度」の上位到達運動を。
集積回路。